

みんなで支え みんなで築く
福祉のまち美作はい!
社協です!

社会福祉法人 美作市社会福祉協議会

東日本大震災

復興支援職員派遣の報告(宮城県多賀城市) No.1
災害支援ボランティアバスの随行活動

美作市社協は、県社協の要請を受けて、宮城県多賀城市ボランティアセンター運営支援に2名の職員を、ボランティアバスに1名の随行職員を派遣しました。

今回は、ボランティアバスに随行した松本陽福祉活動専門員から活動

状況を報告します。

ボランティアバスの活動は、県内40名の一般ボランティアの皆さんと5月23日から27日にかけて多賀城市で行われました。

同市は、津波の影響で約3割以上が浸水するほどの甚大な被害を受けています。

被災地では、修復等が既に行われている民家がある一方で、震災から2ヶ月以上経過しているにもかかわらず、殆ど手がつけられていない状態の民家もあるという状況でした。また、市街の側溝にも大量の汚泥が溜まったままで悪臭を放ち、生活を営むには不衛生な状況でもありました。

被災地の復興には、長期間継続した様々な支援が必要です。義援金や募金活動と共に、災害ボランティア活動も重要な支援であると思えます。

ボランティアバスは、8月末まで月2回程度運行する予定となっておりますので、参加を希望される方は、市社協各支所までお問い合わせください。

被災地での活動は、不要となった家財等の運び出しや側溝に溜まった泥の撤

(注)ボランティアバス随行員は車中では、一般ボランティアのお世話をを行うと共に現地では、ボランティア作業班のリーダーとして活動します。



被災地でボランティアバスのメンバーと共に側溝に溜まった泥の撤去作業を行う松本福祉活動専門員

平成22年度 事業報告・決算報告

事業報告の概要

平成22年度事業計画に基づき、地域福祉を推進するため、「すべての人々が住み慣れた地域で、安心していきいきとした暮らし」ができるようにお互いに支え合い、助け合う地域社会の実現に向け、地域住民の福祉活動への積極的な参加を促進し、一体となった事業の推進に努め、重点事業を中心に取り組みました。

今後の地域福祉を進める上で特に重要な事業として、地域福祉活動計画の策定に取り組み、策定後は、計画を具体化するため49項目の企画書を作成し、23年度事業で反映することにしております。

市からの受託事業として、配食サービス・地域住民グループ支援事業の介護予防事業、施設管理事業、放課後児童クラブの運営、ファミリーサポートセンター等に取り組みました。

介護保険事業につきましては、昨年と同様に居宅介護支援事業、訪問入浴介護事業、通所介護事業、訪問介護事業の4事業をそれぞれ行い、サービスの質の向上に努めて参りました。

平成22年度 美作市社会福祉協議会一般会計資金収支計算書総括表

(自)平成22年4月1日 (至)平成23年3月31日

(単位:円)

勘定科目		本年度決算額	前年度決算額	増減		
経常活動による収支	収	会費収入	8,044,500	8,031,500	13,000	
	収	寄附金収入	7,651,691	8,161,219	△ 509,528	
	収	経常経費補助金収入	67,416,000	71,444,000	△ 4,028,000	
	収	助成金収入	0	4,900,000	△ 4,900,000	
	収	受託金収入	96,561,754	90,589,505	5,972,249	
	収	共同募金配分金収入	2,370,000	2,520,000	△ 150,000	
	収	負担金収入	416,000	227,000	189,000	
	収	介護保険収入	195,584,670	188,352,862	7,231,808	
	収	自立支援費等収入	5,041,739	3,919,821	1,121,918	
	収	利用料収入	20,678,172	22,388,994	△ 1,710,822	
	収	雑収入	1,242,360	2,508,120	△ 1,265,760	
	収	受取利息配当金収入	1,424,536	1,783,599	△ 359,063	
	収	経常収入計(1)	406,431,422	404,826,620	1,604,802	
	支	出	人件費支出	273,896,989	252,854,090	21,042,899
支	出	事務費支出	3,441,730	4,599,088	△ 1,157,358	
支	出	事業費支出	88,084,052	90,683,744	△ 2,599,692	
支	出	共同募金配分金事業費	2,298,436	2,514,551	△ 216,115	
支	出	助成金支出	18,893,450	18,757,500	135,950	
支	出	負担金支出	766,150	931,200	△ 165,050	
支	出	経常支出計(2)	387,380,807	370,340,173	17,040,634	
		経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	19,050,615	34,486,447	△ 15,435,832	
施設整備等収支	収	施設整備等寄附金収入	1,497,000	2,031,000	△ 534,000	
	収	施設整備等収入計(4)	1,497,000	2,031,000	△ 534,000	
	支	出	固定資産取得支出	3,264,465	6,866,210	△ 3,601,745
	支	出	施設整備等支出計(5)	3,264,465	6,866,210	△ 3,601,745
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,767,465	△ 4,835,210	3,067,745	
財務活動収支	収	退職共済預け金返還金収入	10,296,511	0	10,296,511	
	収	財務収入計(7)	10,296,511	0	10,296,511	
	支	出	積立預金積立支出	9,740,000	6,617,035	3,122,965
	支	出	退職共済預け金支出	10,707,763	10,635,730	72,033
	支	出	財務支出計(8)	20,447,763	17,252,765	3,194,998
		財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 10,151,252	△ 17,252,765	7,101,513	
		予備費(10)	0	0	0	
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	7,131,898	12,398,472	△ 5,266,574	
		前期末支払資金残高(12)	50,841,889	38,443,417	12,398,472	
		当期末支払資金残高(11)+(12)	57,973,787	50,841,889	7,131,898	

寄附金の活用報告について

平成22年度、市民の皆様からお寄せいただいた香典返しや見舞返しの寄附金は390件、7,651,691円のご厚志を賜りました。

ご厚志に沿うべく、以下の地域福祉活動の財源として活用させていただくとともに運用財産として積立をさせていただきます。

事業名	金額	摘要
住民グループ助成事業	140件 1,260,150円	おおむね65歳以上の参加者で構成される住民グループ（サロン）への活動助成金
緊急医療情報キット配布助成事業	1,277世帯 467,460円	緊急連絡先、かかりつけ病院、既往症、服用薬等の緊急時に必要な情報を記入した緊急医療情報シートを保管する緊急医療情報キットを配布する
子育て用品貸出事業	365,081円	ベビーベッド、ベビーカー、チャイルドシートの貸出 平成23年度より実施に向け、器具備品の整備
「社協だより」広報事業	819,000円	年間6回発行の「社協だより」印刷代の3回分に充当
基金積立金事業	4,740,000円	運用財産として積立

平成23年度 社協会員募集と会費納入のお願い

美作市社会福祉協議会の事業にかかる経費は、市や県からの補助金や受託金のほか、自主財源として市民の皆様からお寄せいただいた会費によってまかなわれています。社会福祉協議会の会員制度は、社協の事業に賛同し、その活動を資金的に支援していただくことにより、地域福祉を推進する一員となっただけを目的としています。

会員の皆様から寄せられた会費は、社協だより「はい！社協です！」の制作費や市内ボランティア活動の支援に充当させていただいている他、地域福祉活動を支えるための貴重な財源として、各地区社協に翌年度配分しています。

社会福祉協議会では、**年間を通じて**会員を募集していますが、7月1日～8月31日は、『強化月間』として位置づけております。本年度も社協会員制度の趣旨を一人でも多くの方にご理解いただき、ご協力よろしくお願いいたします。

会員会費は3種類あります

	年額（1口）	主な対象	主な内容
普通会員	1,000円	市民	毎年、組合等を通じて戸別に会員加入をお願いしています。
賛助会員	3,000円	市民	社協の事業に、ご賛同いただける個人の方々に、ご協力をお願いしています。
特別会員	5,000円	市内企業・法人等	社協の事業に、ご理解ご賛同いただける企業や法人等に、ご協力をお願いしています。

支所だより

勝田支所

『シルバークッキング教室』

勝田支所では、料理の勉強をしたい60歳以上の方を対象に、年に10回程度『シルバークッキング教室』を開催しております。

5月13日(金)、勝田総合支所梶並出張所で今年度第2回目の教室を開催しました。

参加者は17名で栄養委員さんにご協力いただき、『煮込むだけの簡単レシピ』の豚丼、

コールスローサラダ、あじのつ

みれ汁、この時期の『鯉のぼり』にちなんで鯉を形取った和菓子を調理しました。その後は会話を楽しみながらの試食でお腹いっぱいになり、笑顔の絶えない会になりました。

次回は7月8日(金)に勝田総合支所梶並出張所で開催予定です。教室参加ご希望の方は、〈勝田支所〉☎77-2900までお申し込みください。



大原支所

大原放課後児童クラブ「ムサシ」の遠足と交流会

大原放課後児童クラブ「ムサシ」では1年の締めくくりに、毎年春休みを利用してバス遠足に出かけます。

今回は、『姫路子ども館』に行きました。日本伝統玩具でのあそび体験リサイクル工作、木とのふれあいコーナーなどの心温まる施設でした。デジタル化社会の日常から抜け出し、ほっとするような穏やかな時間を過ごせた1日でした。

また、美作北児童クラブ「ダンボ」での、けん玉の交流会では、ダンボの子どもたちには段取得者も多く、色々な技を見せてもらったり、教えてもらったりして、とても刺激を受けたムサシの子どもたちでした。けん玉交流だけではなく、一緒にお弁当を食べたり、ドッジボールなどを通じてすぐに仲良くなり、子どもたちからは『また行きたい！』『今度は来てほしい！』など楽しかった声が聞こえてきました。



けん玉で交流する子どもたち



東栗倉支所

ふれあい・いきいきサロン紹介 〜東吉田・『大空会』〜

5月24日(火)、東吉田集落センターで会員22名が参加して、ふれあい・いきいきサロン『大空会』が開催されました。

今月は、協働のまちづくり出前講座「防火教室」を依頼し、消防本部職員から防災ビデオの上映や水消火器の使用方法等について学びました。

上映されたビデオで、火災が発生する様々な場面を見た参加者は、「火災警報機の大切さを改めて感じた」との声も聞かれました。

『大空会』は、毎月1回定例で行われており、参加者の皆さんで年間計画をたて、内容も盛りだくさんです。

体操や歌・会食・子供会との七夕会等、地域の皆さんが上手にサロンを活用されています。



水消火器を使う参加者たち

美作支所

美作支部老人クラブ連合会

5月18日(水)、北山の「世代交流多目的ホール」において、美作支部老人クラブ連合会の総会が開催されました。

当日は、美作地域内43クラブの会長・女性リーダーが出席され、平成23年度事業等について協議が行われました。



マジック(手品)体験、伝言ゲームで親睦を深める 〜美作地区ボランテニア連絡協議会 総会開催〜

5月21日(土)、北山の「世代交流多目的ホール」において、美作地区ボランテニア連絡協議会(会長・佐藤順子)の総会が開催されました。当日は、約45名の出席があり、平成22年度の事業報告、決算・監査報告、平成23年度の事業計画、予算について協議したあと、「美作市マジック同好会(代表・後藤耕作)」会員によるマジックの披露が行われました。テレビの世界で見ると、バラエティーに富んだマジックショーを披露していただき、目の前で見ていても不思議不思議…必死に仕掛けを探ろうとする出席者も見受けられました。また、種明かしがあったり、さらには出席者の中から数名、マジック同好会の会員に教わりながら、即席でマジックの披露を行うなど、会場は笑いに包まれ、大変盛り上がりしました。



マジックショーのあとは、伝言ゲームで親睦を深めるなど、大変有意義な総会となりました。

作東支所

作東福祉ボランティアの会土居支部で 視察研修を行いました。

作東福祉ボランティアの会土居支部では、5月14日(土)、鳥取県日野町の日野ボランティアネットワークが開催している「高齢者お誕生日プレゼント企画」を視察研修しました。この事業は2000年、鳥取県西部地震後地域の高齢者の見守り活動を行うために始まった事業です。事業内容は、高齢者の誕生日に、ボランティアや老人クラブ、授産施設の方々など地域の様々な方が関わって作ったプレゼントを持って高齢者宅を訪問し、高齢者の近況や困りごとなどの聞き取りを行い、その後のボランティア活動につなげたり、行政関係団体などに情報を提供している活動です。

視察当日は、朝から地元の方と一緒にプレゼントづくりを行い、午後からは訪問に同行させていただきました。訪問活動では、お祝いやプレゼントを渡すことで、初めて会った人でも自然と会話をすることができました。この事業は、訪問先での、「高齢になっても誰かから誕生日を祝ってもらえるなんて嬉しい」、「一人暮らしでも誰かが見守ってくれる安心感がある」といった声が聞かれることなどから、参加されているボランティアの人も楽しみとやりがいのある活動となっているとのことでした。土居支部でも、今年度からお誕生日訪問活動を始められるとのことですので今後の活動に生かされることでしょうか。



誕生日カード作成中です。



今月のプレゼントは山菜おこわでした。

英田支所

春の交通安全県民運動

春の交通安全県民運動が、5月11日(水)から始まり、関係者の出発式が英田保健センター内で行われました。

高齢者の交通事故率の高さが懸念されており、老連英田支部でも役員を中心に、交通安全の啓発活動を目的に約20名が参加しました。

翌々13日(金)には、高齢者交通安全モデル地区発足式が快晴の下、いきいきプラザ英田で執り行われました。

22年度のモデル地区だった、勝央町植月東老人クラブ睡会の代表者4名が同席され、英田地域奥地区と三保原地区の老人クラブ代表者にモデル地区看板の伝達式がありました。

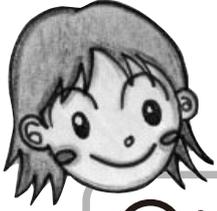
警察、安全協会の方々、そして当事者である高齢者の代表として老人クラブの関係者等多数に参加し、交通安全の啓発が再確認されました。

また、「ふれあい号」による体験があり、運転適性などもあらためて確認することができました。



美作市ファミリー・サポート・センター通信

美作市ファミリー・サポート・センターは、子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援してくださる人(提供会員)からなる会員組織で、安心して子育てができるための環境づくりを支援しています。



子育てを応援してほしい人・ 応援したい人 募集中です

Q：市外に住んでいる孫をみているのですが、私の用があるときにお願いすることはできますか。

A：できます。依頼会員は、美作市に住んでいる方であれば、利用することができます。



講習会のお知らせ

美作福祉部隊 リカイヒロメタイムインジャー 参上!

～あなたの理解でかわる子どもの未来～

「こだわり・多動etc

ちょっと気になる子どもの理解と支援」

- ◆日時 7月8日(金) 10:00～12:00
- ◆場所 世代交流多目的ホール(美作市北山)
- ◆内容 主に発達障害について、美作大学学生による劇や疑似体験を通して楽しみながら理解を深めます。
- ◆参加費 無料
- ◆託児 有り(無料・申込要)
- ◆申込締切 7月1日(金)
- ◆定員 40名



申し込み・問い合わせ

美作市ファミリー・サポート・センター (☎72-3961)

講習会・交流会は、会員以外の方でも自由に参加していただけます。お気軽にご参加ください。詳しくは、美作市ファミリー・サポート・センター (☎72-3961) までお問い合わせください。

赤ちゃんサロンえんぜるからお知らせ

ベビーマッサージ&ママのための親子体操



- ◆日時 6月28日(火) 13:00～15:00
- ◆場所 世代交流多目的ホール(美作市北山)
- ◆対象 0歳児の親子 15組
- ◆参加費 無料
- ◆用意するもの バスタオル・赤ちゃん和妈妈の飲み物
- ◆申込締切 6月27日(月) ※定員になり次第締め切ります。

申し込み・問い合わせ

美作市ファミリー・サポート・センター (☎72-3961)

手話奉仕員を目指して

平成
23年度
手話奉仕員養成事業
基礎講座開催

5月25日(水)19時より、美作市北山の「世代交流多目的ホール」にて『手話奉仕員養成事業 基礎講座』が開催されました。本講座は、昨年の入門講座をさらにステップアップさせた内容で、熱心な13名の方々の受講申し込みがありました。講座のねらいは、自分の伝えたいことを表現でき、相手の手話を読み取れるようになること、特定の聴覚障がい者となら、日常会話ができる程度の手話表現の習得を目指して、全25回にわたって開催されます。また、手話の表現技法だけでなく、聴覚障がいや聴覚障がい者の生活、福祉制度等についても幅広く理解と知識を深めるもので、聴覚障がい者が住みやすい地域となるよう、一人でも多くの手話奉仕員を養成していきます。



社協の介護保険サービス紹介

湯つたり
お届けします！

訪問入浴

訪問入浴介護は、ご自宅で介護・介助が必要な高齢者や障害者などの方がお部屋でそのまま入浴できるサービスです。

専用の浴槽を装備した訪問入浴車とスタッフ3人1組のチーム（看護師1名・介護職員2名）で訪問し、寝ている方のお部屋でそのまま入浴していただくことができます。

また、看護師が同行するため、利用者の身体的な状態も把握でき、訪問介護など他のサービスを受ける際の参考にしていただけます。ご自宅での入浴にお困りの方は、ぜひお気軽にご相談ください。

利用できる方

要介護認定を受けられた方や身体障害児・者等の方で自宅の浴槽で入浴が困難な方

利用時間

月～金曜日の9時～16時
12月29日から翌年1月3日までを除く

サービス実施区域

美作市内全域

お問い合わせ先

美作市社会福祉協議会 作東支所

☎75-2622



勝田地域	和田 正紀(副会長)	美作地域	有本 安男(会長)
大原地域	春名 信義	作東地域	山本 壽
東栗倉地域	上田 義雄	英田地域	松村 繁



委員の任期 平成28年5月末まで

地域福祉活動計画の進行管理で 評価委員会を設立

平成22年度に策定した「地域福祉活動計画」の実現に向けて進行管理を行うため、美作市社協は、各地域から6名の評価委員を選出していただき、5月20日(金)、地域福祉活動計画評価委員会を設立しました。

評価委員会は、地域福祉活動計画を具体化した49項目からなる企画書を元に進捗状況の報告を受け、年度単位での進行状況を分析・評価するものです。

評価委員は次の方々です。(敬称略)

新理事・評議員紹介

美作市社協では、5月26日(休)に理事・評議員会を開催し、新たに次の方々を理事・評議員に就任されました。(敬称略)

理事

道上 政男 (美作市議会議長：美作市湯郷)
春名 信義 (大原地域社協の代表者：美作市川上)
中村 富夫 (英田地域社協の代表者：美作市下山)

評議員

山本 雅彦 (美作市議会文教厚生委員長：美作市鷺巣)
鈴木 悦子 (大原地域社協の代表者：美作市中町)
橋本 正弘 (英田地域社協の代表者：美作市中川)
岡野 卓夫 (東栗倉地区ボランティア活動団体の代表者：美作市中谷)
小寺 浩介 (行政関係者：美作市保健福祉部社会福祉課長)

お知らせ

2011夏のボランティア体験事業について

今年も勝英市町村社協連絡会(美作市・勝央町・奈義町・西栗倉村社協)主催による「2011夏のボランティア体験事業」を7月から8月末にかけて行います。

夏のボランティア体験事業は、ボランティアの活動体験を通じて、社会福祉についての理解を深めると共に、様々な出会いの中から新しい発見や「ともに生きていく」視点について考える機会を提供することを目的に開催しています。

対象：ボランティア活動に関心があり、自分の意思で参加を希望する中学生以上の方
活動先：勝英管内の福祉施設、病院、幼稚園・保育園、その他地域のボランティア活動
参加費：500円

事前研修会・活動調整会議：7月2日(土) 13:30~15:30 勝央文化ホール

事後研修会：8月27日(土) 13:30~15:30 勝央町総合保健福祉センター

詳しくは、美作市社会福祉協議会各支所までお問い合わせください。

地域福祉活動計画の活動目標と取り組み内容

Part.3

活動目標3 みんなが集まる場所づくり

相互に助け合いが行われる地域づくりに向けての第一歩は、地域で気軽に集まり、相談したり、話をしたり、交流できる、ふれあい・いきいきサロンなどの「場所づくり」が大切な役割を担います。ふれあい・いきいきサロンは、市内約200カ所で地区社協や民生委員、ボランティアなどにより活動が行われていますが、各サロンの運営や事業のあり方において多くの課題があります。これまで以上に住民参画を促しながら、地域の実情に沿ったサロンの活動支援を行います。



アンケートや座談会から寄せられた「住民の声」 (活動目標が生まれた背景)

- ・誰もが気軽に集まれる場所が少ない。
- ・高齢者が集まれる場所を必要としている。
- ・高齢者との関わりをもっと深めるために交流機会を増やして欲しい。
- ・男性にとって興味関心がある高齢者サロンにして欲しい。
- ・伝承行事や高齢者から昔遊びを覚えてもらう機会を作って欲しい。
- ・住民の交流によって、地区ニーズを把握して欲しい。

「住民の声」を解決するための取り組み

① 気軽に集まれる場の確保を

地域の取り組み内容	地域の取り組みを支援するための社協実施事業
<ul style="list-style-type: none"> ・集会所や公会堂などを子どもから高齢者まで気軽に集まれる場所にしましょう。 ・近所数軒で茶話会などを開き、近所で集まるきっかけを作ってみましょう。 ・一人暮らし高齢者等に、サロンへの参加を呼びかけましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協や民生委員、ボランティアなどに呼びかけて、地域活動や交流の場を作れるよう協力支援します。 ・サロンの担い手となる活動リーダーの育成、サロン活動の手引きを作成し、活動支援の強化を図ります。(レクリエーション講座の開催・サロンへ派遣できるボランティアの発掘とリスト作成)
<ul style="list-style-type: none"> ・男性がサロンに参加できるように行事を工夫してみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で行われているサロンの活動を社協だよりやホームページなどで紹介します。 ・男性料理教室の開催など、男性が参加しやすいサロンのメニューを提案します。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に伝承行事などを取り入れて、子どもから高齢者まで、役割を持って参加できる交流の場を作りましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動する諸団体の役員等に協力依頼し、地区社協や自治会の連携ができるよう協力支援します。

～たくさんのご協力ありがとうございます～

東日本大震災 復興支援義援金

この度の東日本大震災に対しまして、市民の方々から多くの義援金をいただきました。日本赤十字社を通じて被災地区の復興支援に活用していただいております。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

義援金総額

(6月2日現在)

550,241円

「地域社会福祉 協議会連絡会」 設立会議を開催

市社協は、地域社協の連携強化や調査研究を行うことを目的として、市内6地域社会福祉協議会から選出していただいた代表者2名を構成員とした、仮称「地域社会福祉協議会連絡会」を設立するため7月20日(水)、午前10時から設立会議を開催し、規約の承認や、正副会長の選出、事業計画などの協議を予定しています。

助成金情報（民間助成事業のご案内）

社会福祉協議会に周知された民間助成金情報の一部を掲載しています。詳細については、各団体に直接お問い合わせください。

財団法人 岡山県福祉事業団「山陽新聞ふれあい基金」

◇助成対象事業

地域において、障害者関係団体及びボランティアグループ等が、障害者の自立と社会参加を促進するため、自主的に行う一定規模以上の障害者が参画する事業で、次の各号のいずれかに該当するものに要する経費の一部を助成する。

ただし、施設整備及び修繕等に要する経費は除く。

- (1) 障害者の自立と社会性を養うための諸行事(療育キャンプ、子ども会行事、社会見学、レクリエーション等)
- (2) 障害者と健常者の交流を図り、社会参加を促進する事業(交歓会、研修会、サークル活動、スポーツ大会への参加及び観覧等)
- (3) その他、委員会が必要と認めた事業

※前項の規定にかかわらず、他の補助事業等により国、県または市町村等から補助(助成)を受ける事業は、原則として除く。

◇助成期間

原則として単年度。

趣旨に沿う事業については、最長3年間まで。

なお、3年助成を経過した団体であっても、全県的な団体については、特例として継続して助成する場合がありますので事業団と事前にご協議ください。

◇申込方法

申請書等を財団法人 岡山県福祉事業団へ提出。

申請の際に、推薦機関による推薦状が必要となります。

岡山県社会福祉協議会の推薦を希望される方は、平成23年7月13日(水)までに社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会 ボランティア・NPO活動支援センターまで提出書類を添えて、ご相談・ご連絡ください。

なお、財団法人 岡山県福祉事業団への提出締切は、平成23年7月20日(水)まで。

◇お問い合わせ先

財団法人 岡山県福祉事業団

〒700-0813 岡山市北区石関町2-1 ☎086-226-3501

または 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会 ボランティア・NPO活動支援センター

〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ3階 ☎086-226-3551

多額のご芳志

多額のご芳志をお寄せいただき
誠にありがとうございました。



香典返し

(敬称略)

真加部 福島 道子様
 宗掛 笠木 茂樹様
 梶並 皆木 竜三様
 真殿 長畑 秋子様
 右手 皆木 佳久様
 古町 春名 豊彦様
 古町 酒井 尚美様
 今岡 (亡) 藤原 豊子様
 今岡 井並 一也様
 川上 (亡) 清野ハルコ様
 井並 重輝様
 中尾 秀行様
 下庄町 大塔 殖様
 東吉田 山田 牧子様
 北山 貞森 一徳様
 豊国原 津田 通廣様
 (亡) 英雄様
 (亡) 公子様

豊国原 谷元 敏子様
 山口 (亡) 山本 亀幸様
 溝口 勝利様
 山外野 (亡) 卓平様
 山本 妙子様
 山外野 (亡) 操様
 安東須磨子様
 山外野 (亡) 光則様
 曾根イマエ様
 林野 (亡) 良弘様
 道廣 ふみ様
 海田 (亡) 與様
 岡野 鉄舟様
 湯郷 木下 智宏様
 鷺巣 (亡) ミチ子様
 春名 三好様
 小林 孝一様
 小林 澄子様
 五名 (亡) 千代子様
 山本 民子様
 井口 瞭様
 豆田 (亡) ひろ様
 大前 英輝様
 豊野 (亡) 嘉明・敷美様
 遠藤 忠子様
 豊野 (亡) 政行様

見舞い返し

川北 末宗 真人様
 (亡) 寿美枝様
 土居 小林 和彦様
 (亡) 末子様
 池田 安隆様
 (亡) 富様
 立岩 正彦様
 (亡) 美佐男様
 上福原 長瀬 諄一様
 (亡) 秀子様
 谷口 正之様
 (亡) 千代子様
 田淵 祐延 房代様
 (亡) 忠夫様
 中村 郁夫様
 (亡) 青山つる子様
 永井 健雄様
 (亡) 唯男様
 丸山 敏朗様
 (亡) 里子様
 岡山市 絹田志名男様
 (亡) みち子様
 青山 哲之様
 (亡) まつ子様
 中田 素生様
 (亡) 中田 尚治様
 藤原 博志様
 (亡) 藤原 豊子様
 笠岡 恭様
 (亡) 喬様
 真加部 長岡 則昭様
 渡邊 孝一様
 小林 吉晴様
 小林 和彦様
 前田 一道様
 真加部 形 則昭様
 五名 孝一様
 五名 吉晴様
 土居 小林 和彦様
 後山 前田 一道様

一般寄付

後山 前田 萬須子様
 野原 笠矢 吉伸様
 豆田 (株) レイテック様
 みまさか女性の会 様

その他寄付

「失踪の捜索お礼」
 真加部 松本 岩夫 様
 勝央町 関 ノーマ 様
 「火事見舞い返し」
 神戸市 小林 八重子 様

編集後記

県社協からの要請を受け、東日本大震災支援職員派遣に、市社協から3名の職員を派遣した。一昨年夏の豪雨災害で多くの人的支援を受けた美作市からは、当然の勤めと考える。大震災に被災した地域の人たちは、全国からの支援活動に対し勇気づけられ、復興への望みを現実のものとして力強く生きていかれることであろう。今後も可能な限り物心共に支援の輪を拡げたい。5月は、理事会・評議員会が開かれ、平成22年度事業・決算報告が承認された。これらの会議の中で、事務局からは、役員選任規程の見直し検討や地域社協連絡会議の開催等が報告された。合併後7年目を迎え、地域の実情を考慮したものとして検討・協議を重ねたい。

編集・発行 社会福祉法人 美作市社会福祉協議会

本所・作東支所

〒709-4234 美作市江見280
 TEL (0868) 75-2622 FAX (0868) 75-7081

大原支所

〒707-0412 美作市古町1850-1
 TEL (0868) 78-0509 FAX (0868) 78-3230

美作支所

〒707-0014 美作市北山401
 TEL (0868) 72-3677 FAX (0868) 72-3969

勝田支所

〒707-0201 美作市梶並70
 TEL (0868) 77-2900 FAX (0868) 77-2933

東粟倉支所

〒707-0403 美作市東青野844-1
 TEL (0868) 78-2800 FAX (0868) 78-2946

英田支所

〒701-2604 美作市福本806-1
 TEL (0868) 74-2488 FAX (0868) 74-3232